

H30年度 栃尾移動ワーキング振り返り・評価シート

H31年1月24日作成

1 今年度の活動について

【今年度の方針】

昨年度作成したアクションプランに沿った取り組みを実施する。

【今年度の取り組み内容】

開催回数	7回	開催月	7月、8月、9月、10月、11月、12月、1月
------	----	-----	-------------------------

具体的活動内容

- ・福祉送迎サービスについての話し合いの実施に向けて、ニーズ調査を実施。
- ・チラシの配布やDVDの設置についてのモニタリング。
- ・トチオンガーセブンの活用についての検討。

【今年度の取り組み結果】

(今年度の活動からどのような結果となったのかを記載)

- ・ニーズ調査の結果、栃尾地域の送迎の課題については、重要かつ大きな課題であり、社協の送迎福祉サービスの充足だけでは解決しないことが改めてわかった。
→ 栃尾地域の移動の課題については、社会福祉協議会及び、行政へつなぐこととした。

【取り組みの成果】 ※モニタリングを実施した場合のみ

(取り組みの結果が「どのように地域へ還元できたのか」をモニタリングから確認した内容の記載)

2 今年度の振り返り及び評価について

【今年度、協議会活動を通じての振り返り(メンバーの感想・意見)】

メンバーが協議会での活動を通じて感じたことや気づき、今年度部会・ワーキングの取り組みに関すること、長岡市協議会の運営や体制に関する課題・意見等

- ・ワーキングという場で、社協の福祉送迎サービスについて検討できたことはありがたかった。
- ・ワーキングで得たものを活かし、サービスの発展につなげたい。
- ・ボランティアの拡充だけでなく、福祉車両確保への配慮にもつながるものだった。
- ・ワーキングでつながった関係を継続してもっていきたい。
- ・福祉送迎サービスというサービスのルールの中で進めていく難しさを感じた。
- ・いろいろな提言をもらえてよかった。
- ・他のサービス(ハートカーなど)ともリンクしていると感じた。議論の積み重ねや調査でサービスを再検討(ニーズ把握)できた。
- ・メンバーが変わったことで、いろいろな意見がアイデアが出た。
- ・移動という課題に関して、障害だけでなく、他部署(高齢、交通政策など)と検討することが必要と感じた(つなげることができた)。
- ・DVDの放映も継続してほしい。
- ・福祉送迎サービスの知識がなかったことに気付いた。
- ・アクションプランがもう少し具体的になっていれば取り組みを検討しやすかった。
- ・計画通りにいかず、戸惑うこともあった。
- ・前担当者の思いとは違う方向になってしまったが、今のメンバーと議論しながら方向性がみえた。
- ・トチオンガーセブンの活用がたちになってよかった。
- ・アンケート調査で、困っている人の実情が掴めた。
- ・PDCAサイクルの窮屈さがあった。

【協議会の機能について】

今年度の活動の中で(活動の振り返りから)、どのような協議会の機能があったかを確認する。

※協議会の機能詳細については別紙を参考。

	確認した機能の内容 (どのような部分が機能であったか、なかった場合はなぜなかったか等)
情報機能	・ 議論の積み重ねやアンケート調査を実施してサービスの再検討を行った。
調整機能	・ トチオンガーセブンの活用。 ・ ボランティア募集のDVDの放映。
開発機能	・ トチオンガーセブンの活用。 ・ ワーキングで得たものを活かしてサービスの発展につなげたい。
教育機能	・ ボランティア募集のDVDの放映。 ・ ワーキングで得たものを活かしてサービスの発展につなげたいと思えた。 ・ 福祉送迎サービスについての知識がなかったが、学べた。
権利擁護機能	・ アンケート調査にて、困っている人の実情が掴めた。
評価機能	・ 議論の積み重ねやアンケート調査を実施してサービスの再検討を行った。

【今年度の振り返り・協議会の機能から確認できた成果】

※モニタリングによる成果(地域へ還元できたかどうかの成果)とは異なることに留意

- ・トチオンガーセブンの活用ができた(3月の社協だよりにて、コラボレーション)。
- ・ワーキングで得たものを活かしてサービスの発展につなげられた。
- ・ボランティア募集のDVDの放映を継続できた。
- ・移動の課題について、他部署(高齢や交通政策など)へつなげることができた。

3 来年度の取り組みについて

来年度の継続	継続 <input type="radio"/> 終了 <input checked="" type="radio"/>
継続・終了の理由	・栃尾地域の移動の課題については、社協の送迎福祉サービスの充足等だけでは解決できない重要かつ大きな検討課題であることがわかった。 ・ワーキングでの検討を踏まえ、課題の検討の場を、社協及び行政へつなげることができたため。

※部会を一旦終了とする場合については、運営会議にて協議の判断材料とできるようその理由を明確に記載すること。

今年度の取り組みに対する モニタリングの実施	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	モニタリング実施時期	年 月
---------------------------	--	------------	-----

※ワーキングのみ記載

【振り返り・評価内容を受けて、来年度改善を行うこと】

※来年度継続の場合

会議内容や方法に取り入れることなど、具体的に記載する。

--

【来年度の方針・具体的取り組み内容や引継ぎ事項等】

※来年度継続の場合

--